

# 名前【 】

① 南あわじ市の論鶴羽ダム付近で、日没になると光のショーを繰り広げているのは、何ですか？

② そのダム周辺が、今では島内屈指の観光スポットとなったのは、なぜでしょう。

③ 記事を読んでどう思いましたか。感想を書きましょう。

## 学びポイント

- ・ ホタルの種類について、図鑑やインターネットなどで調べてみましょう。
- ・ あなたの家付近で、ホタルの見られるところはどこでしょう。

NIEワークシート／小学生／理科、国語、朝NIE



## 漆黒の渓谷 優雅な光

渓谷に浮かぶホタルの光跡＝南あわじ市神代浦壁(約3分間露光)

### 南あわじ・ホタル見ごろ

多くの入場者でにぎわった淡路花博が閉幕した淡路島で、初夏の風物詩、ゲンジボタルが乱舞している。南あわじ市神代浦壁の論鶴羽ダム付近では、日没とともにホタルが優雅に舞い始め、幻想的な光のショーを繰り広げている。

同ダム周辺では40年以上、地元の三原中学校が中心となり、ホタルの幼虫の放流と保護活動を継続。今では島内屈指の観光スポットとなっている。求愛したり、仲間と意思疎通したりするため、光を放つとされる

黒の深谷で数百の光が明滅すると、見守る人たちからため息が漏れていた。三原中理科部顧問の佐野美穂教諭(48)によると、今月半ばごろまで観賞を楽しめそうという。(中西幸大)